

# つたえるけん 島原市

清らかな湧き水が流れる  
風情豊かな城下町、島原  
郷土愛あふれる人たちが  
まちおこしを頑張っています



今月のつたえるひと **松尾建国**さん

島原市出身。東京の大学を卒業後、2年間東京の印刷会社で働いた後Uターン。家業の印刷会社の3代目として働きながら、商工会議所青年部や青年会議所の会員としてまちづくりに携わる。特にイベント運営に力を注ぎ、現在は「しまばら温泉不知火まつり」実行委員長、島原まつり運営委員会会長などを務める。

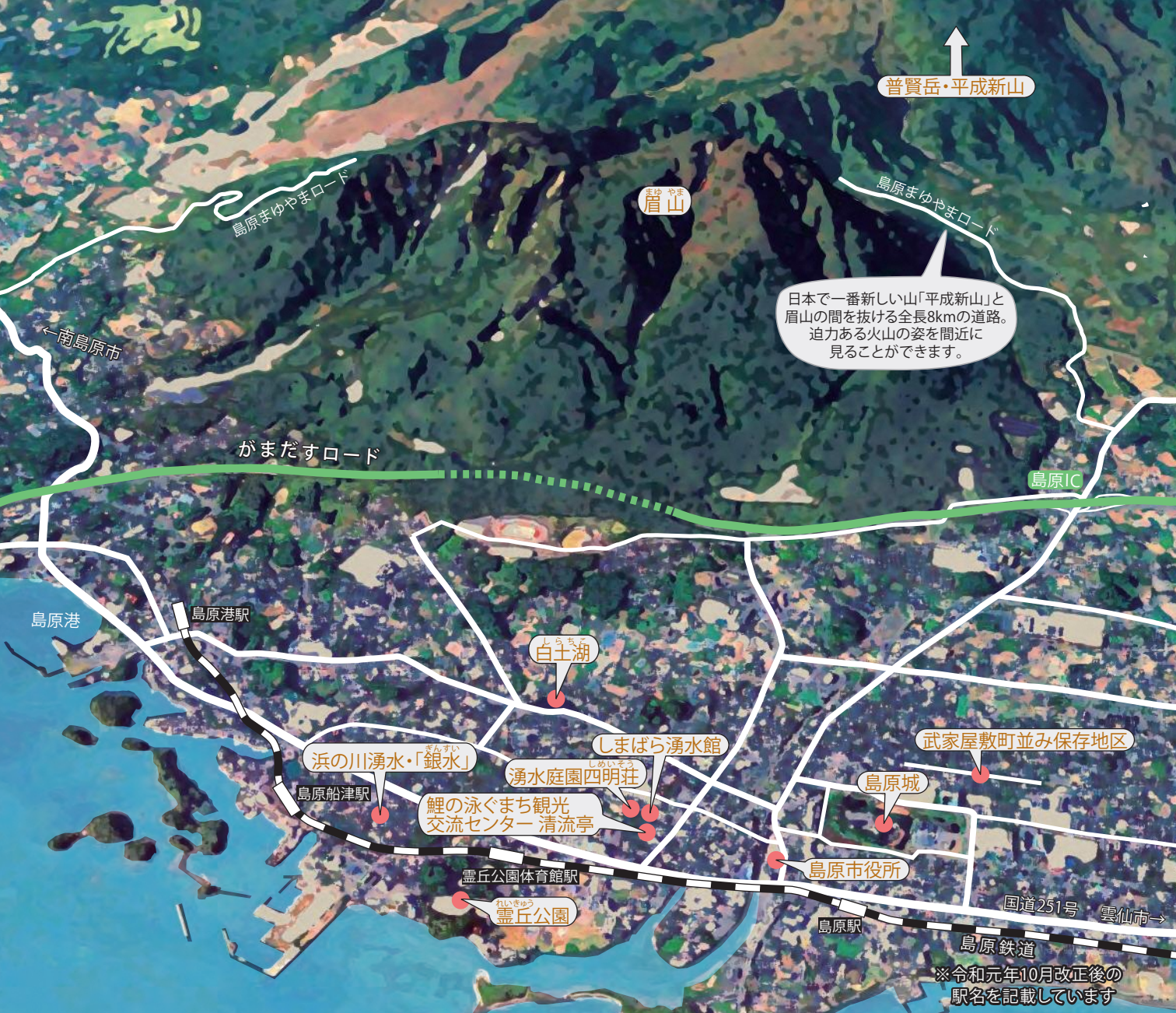


## 鯉の泳ぐまち

「水の都」といわれる島原を象徴する名所。商店街のすぐそばを流れる水路に錦鯉を放流しています。色鮮やかな錦鯉が清流の中で泳ぐ姿は見どころの一つです。

## 島原城(写真右)

1618年から7年余りを費やして松倉重政が築いた城は1874年に廃城になりましたが、1964年に天守閣を復元し、現在の姿になりました。最上階からの眺めは最高です。城内はキリシタン史料館になっています。



日本で一番新しい山「平成新山」と眉山の間を抜ける全長8kmの道路。迫力ある火山の姿を間近に見ることができます。

浜の川湧水・  
浜の川湧水観光交流館「銀水」  
島原の湧水群の中でも代表的な湧水の一つ。今も地域の人が生活用水として使用しています。すぐそばには、島原名物「かんざらし」が食べられる浜の川湧水観光交流館「銀水」があります。



武家屋敷町並み保存地区  
道の中央に水路が設けられた江戸時代の風情を残すこの地区では、山本邸、篠塚邸、鳥田邸の3軒の武家屋敷が無料開放され、当時の生活の様子を知ることができます。



**根底にあるのは郷土愛  
島原の良さを生かしながら  
イベントでまちを元気にしたい**

島原生まれの島原育ちで、小さい頃は島原くんちで神輿を担ぐなど、子どもながらに郷土愛は誰にも負けないと自負していました。でも、大学進学で上京したら都会の生活が楽しくて、父から家業を継いでほしいと言われた時はショックでした。Uターン当初は島原の暮らしがつまらなく感じ、外に遊びに行くことばかり考えていました。そんな中、先輩に誘われて商工会議所の会合に顔を出してみたら、思いのほか楽しくて、まちづくり活動に参加するようになりました。

私がUターンした頃は1990年から4年半続いた雲仙・普賢岳噴火災害の復興真っ只中で、さまざまな交流事業が盛んに行われていた時期でした。イベントを通して人とまちが元気になっていくのがうれしくて、「しまばら温泉不知火まつり」をはじめ、島原市内で開催されるさまざまなイベントに積極的に関わることができるようになりました。

現在は、島原まつり運営委員会会長として、行政と一体となって、特色ある祭りを守り、その魅力を市内外に伝える方法などについて話し合っています。例えば、島原の「精霊流し」は、実際に精霊船を海

## 島原のイトコをお得に楽しめる しまばらめぐりんチケット

島原市内を観光するなら、島原城と湧水庭園四明荘の入館料、お土産(湧水ボトル+エコバックorオリジナルミニ手ぬぐい)が付いた「しまばらめぐりんチケット」(大人1,000円・小中高生500円)がおすすめです。プラス200円で島原鉄道(島原駅～島原港駅)が平日乗り放題、めぐりんバスは土日祝乗り放題です。



【販売場所】  
島原駅および島原港の観光案内所、  
島原城天守閣、観光交流センター清流亭  
問合せ:(株)島原観光ビューロー  
☎0957-62-3986

表紙のはなし『かんざらし』  
白玉粉で作った団子を島原の湧水で冷やし、砂糖や蜂蜜で作った蜜をかけて食べる島原名物です。原料のもち米を大寒の日に水にさらすことから「かん(寒)ざらし」と呼ばれています。



## しまばら温泉不知火まつり

今年で40回目を迎える市民参加型の祭り。島原の伝統芸能などが披露される不知火奉納舞台のほか、しまばらガマダス阿波踊り大会も開催されます。

と き:11月4日(月・祝)  
と ころ:島原文化会館  
問合せ:しまばら温泉不知火まつり振興会  
(島原市しまばら観光おもてなし課内)  
☎0957-63-1111



## 島原城新能

島原藩では、歴代藩主や家臣だけでなく庶民も能楽を楽しんだといわれています。この歴史と伝統を継承していくと、1983年に始まったもので、市外からも多くの観客が訪れます。

と き:10月19日(土)16時開場、17時開演  
と ころ:島原城天守閣前広場  
※雨天時は島原文化会館  
入場料:無料  
問合せ:島原城新能振興会(島原商工会議所内)  
☎0957-62-2101

に流す昔ながらのやり方を続けています。切り灯籠を飾り付けた船が夜の静かな有明海に入って行く感動的な光景を、ぜひ多くの方に見ていただきたいです。

また近年では、新しいイベントの企画にも取り組んでいます。3年前に始めたコスプレイベント「島原コスプレの乱」はその一つです。若者たちがゲームやアニメのキャラクターに扮して撮った写真がSNSで発信され、日本中に島原の魅力の新たな一面を伝えていきます。さらに、島原城築城400年の記念イベントも5年後に控え、準備を進めているところです。

島原は清らかな湧水群に恵まれた素晴らしい城下町です。これからも郷土を愛し、魅力あるイベントの創出に力を尽くしていきたいと思っています。